

会 議 録

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 7 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 5 年 1 2 月 5 日（火）午前 9 時 3 0 分～ 1 0 時 4 0 分		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員 金ヶ江博紀委員、齊藤美恵子委員		
欠 席 委 員	高橋陽子委員		
事 務 局 員	松本浩明主任、伊藤修主事、永嶋汐美（会計年度職員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告（11月22日開催）</p> <p>2 企画実行委員連絡会（後期）について</p> <p>3 第60回東京都公民館研究大会の参加について</p> <p>4 各講座の報告と計画</p> <p>〔報告〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「庭園と美術に ふれ季節を感じる東京都庭園美術館を知る」、成人 学校「水引細工の正月飾り～橙（だいたい）飾りの リースを結ぼう」</p> <p>〔計画〕〔令和5年度〕</p> <p>市民講座「50歳代から考える これからの生き方・ 働き方」、市民講座（仮）「認知症の予防とケアの最 前線」、市民講座（仮）「紫式部を知る」</p> <p>〔令和6年度〕</p> <p>高齢者学級「けやき学級」</p> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井市公民館の70年の歩み事業について ・日程の確認 <p>次回の日程 令和6年1月16日（火）午前9時30分～ 集会室 A B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（11月22日開催）の報告

公民館事業の報告では、貫井南分館から成人学校「今日からはじめる いきいき腸活講座」、「楽しくトレッキング紅葉編」を提出。事業計画では、貫井南分館から成人学校「より良い睡眠のために睡眠のために」を提出。報告、計画共に貫井南分館には質疑なし。委員から、資料として提出されている「事業のまとめ」に変わる「公民館事業報告書」について、実施成果の提示として職員及び参加者の感想を加えてほしいとの意見が出された。協議事項の公民館施設の有料化については、この期において、減免の範囲、徴収方法などについて視察も視野に入れ、議論を行い解決することの確認を行った。但し、事務局へは議論の基本となる全体のスケジュールの提示を求めた。

2 企画実行委員連絡会（後期）について

11月7日（火）午後2時から公民館緑分館で開催された。南分館からは、今村委員、大野委員、齋藤委員、高橋委員が出席、市民講座「アンガーマネジメント講座」、「50歳代から考える これからの生き方・働き方」、成人学校「庭園と美術にふれ季節を感じる東京都庭園美術館を知る」について、その特徴的なところを発表した。

3 第60回東京都公民館研究大会の参加について

令和6年2月3日（土）に開催される公民館研究大会について、各委員に開催要項を事前に周知し、課題別集会への参加希望集約を行った。今回のテーマは「『個』から始まる社会教育～人と人を結ぶ“公民館”の在り方について～」、会場は国立市公民館、国分寺市本多公民館、3つの課題別集会となる。

4 各講座の報告と計画

【報告】

○高齢者学級「けやき学級」

11月8日（水）に閉講式を迎え、全カリキュラムが終了した。20人でスタートし、中盤以降がや体調不良による2人の退会者が出て、18人でのゴールとなった。出席率は82%と前年に比べ低かった。また、全員が出席したのは1回のみであった。各班のカリキュラムベスト3では、脳活体操でリフレッシュ、朗読を聴こう、管楽器演奏ほか、近年の異常気象と防災などが選出された。

○成人学校「庭園と美術にふれ 季節を感じる東京都庭園美術館を知る」

1 1月10日（金）に事前学習、17日（金）にはマイクロバスで美術館訪問を行った。定員13人に対して33人の応募で、9割が女性であった。講師がNHK「ブラタモリ」で美術館を案内したエピソード含め、旧朝香宮邸の建築様式（アールデコ様式建築）、美術館が旧皇族の邸宅であった興味深い話を事前に聞くことができ、訪問での見学はより深いものとなった。そもそもこの講座は、庭園と美術にふれ、季節を感じてもらうことが第一であった。今年は紅葉の時期が遅れ園内に緑が多かったが、雨も止み、参加者それぞれが思い思いに過ごしていただいたようであった。

○成人学校「水引細工の正月飾り～橙（だいたい）飾りのリースを結ぼう」

1 2月2日（土）午前10時から正午に実施。応募は定員10人に対し40人で、人気の高さがうかがえた。また応募の全てが女性であった。今回は会場を学習室から和室に変更した。今年度畳替えしたばかりで、正月飾りとして和の雰囲気の中で作業ができた。来年も和室での開催を検討したい。

【計 画】

〔令和5年度〕

○市民講座「50歳代から考える これからの生き方・働き方」

1 2月16日（土）午前10時から正午に実施予定。応募状況は現在9人（男性5人、女性4人）となっている。40歳代3人、50歳代が6人。少ない人数での密の濃い講座となればと担当は考えている。

○市民講座（仮）「認知症の予防とケアの最前線」

タイトルを「今日からできる認知症予防」に変更し、令和6年3月9日（土）に「認知症の予防とケアの最前線」、16日（土）には「認知症新薬に期待すること」の2回となった。それぞれ講師でお願いすることとなった。市報2月1日号掲載を予定。

○市民講座（仮）「紫式部を知る」

来年度のNHK大河ドラマの主人公である「まひろ」の生い立ちと当時珍しかった女流作家の恋愛小説「源氏物語」についての内容となる予定。令和6年3月3日（日）、10日（日）午前10時から正午に実施予定。市報2月1日号掲載を予定。

○成人学校「リボンレイで作る バレンタインバッグチャーム」

2月10日（土）午前10時から正午に実施予定。今後、講師からできあがりの写真が届く予定。

〔令和6年度〕

○高齢者学級「けやき学級」

12月11日（月）に来年度のカリキュラム検討を行う予定。

5 その他

- ・小金井市公民館の70年の歩み事業について ほか
- ・日程の確認

次回の日程（予定） 令和6年1月16日（火）午前9時30分～ 集会室AB

第37期小金井市公民館運営審議会 第2回審議会の報告

令和5年11月22日開催・商工会館2階

1 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について

令和5年度委員部会第1回研修会を10月14日（土）午後2時から4時30分、国立市公民館地下ホールで、公運審委員と市民のための公民館入門研修「公運審の役割、都公連のあり方を考えてみませんか」をテーマに開催。その中で、都公連の始まりは昭和26年、公民館職員で小金井市内の浴恩館で始まったことの話があった。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、成人学校「今日からはじめる いきいき腸活講座」、「楽しくトレッキング紅葉編」を提出。質疑なし。委員からは、資料の公民館主催事業体系で、公民館講座の成人教育事業、少年教育事業などの項目については、東京都などの上位目標があって小金井市で決めているのかとの質問に対し、公民館で決めていると回答。また、今回から報告に使われてた事業のまとめに代わる事業報告書について、成果の提示として職員の思い、参加者感想を載せていただければとの意見が出された。

2 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、成人学校「より良い睡眠のために」を提出。質疑なし。市民がつくる自主講座について、今回いきなり応募を早めたことから講師の決定に向けた調整が難しくなるとの意見が出され、これ以上早めることは予算が決定していない状況下ではスタートが難しいとした。

3 協議事項

ア 公民館施設の有料化について

委員から有料化に対して賛成、反対の質問が提出されたが、第5次行財政改革にもあるとおり、有料化についてこの37期で実効性のある議論を行うことの確認を行った。質問中時間貸しではなく午前、午後、夜間の3部貸しではとのことについては、柔軟な使い方を重視しているとした。議論に際して導入へのタイムスケジュールが必要、また、減免の範囲、徴収方法について、事務局では議論のために他市への視察も行うことも考えているとした。徴収された料金の使い方については、一般財源となり特定とはならないことを確認した。夜間、土日の徴収方法など課題はあるが、37期での解決を見たいとの館長の話があった。

イ 東京都公民館連絡協議会 委員部会について

吉田委員から委員部会の担当を降りる意向が示されたが、要調整となった。

4 その他

- ・貫井北副分館長（伊藤）が、中央教育審議会生涯学習分科会において社会教育士についての報告を行った。

次回の日程 令和6年1月31日 午前10時から三者合同会議を801会議室で。

貫井南分館

高齢者学級	けやき学級
-------	-------

目的 高齢者の置かれた現状と課題を見据え、「生きがいのある毎日のために」をテーマに、共に学び、行動し、社会参加のあり方を考え、生きがいを見出す。

日程・内容・講師 別表のとおり

場 所 貫井南分館学習室A B



募集方法 市報4月15日号、月刊こうみんかん4月号、チラシ、ポスター、市ホームページ 多数抽選（往復はがきで応募）

人 数 65歳以上の市民20人 応募21人 受講20人（男性5人、女性15人）延べ参加者 265人 出席率 82%
平均年齢：77.3歳（男女別：男性80.6歳 女性76.1歳）

担当企画実行委員

阿部 光子、今村 誠、大野 芳輝、金ヶ江博紀、齊藤美恵子、高橋 陽子

担当職員 伊藤 修、松本 浩明

担当職員感想 昨年と同様に、コロナ感染拡大予防対策を採りながら学級生20人での開催となった。机1脚に1人の配置で、なかなか学級生同士のコミュニケーションが取りづらい中、5月下旬にコミュニケーションを第一に取る目的で「遠足」（江戸東京たてもの園）に出かけたことにより学級生同士のコミュニケーションが図られた。また、学級生念願の野外学習「千葉港散策」に行けたことは大変有意義であった。

参加者感想

- 内容がバラエティーに富んでいて、楽しく参加させていただきました。
- メンバーの方にも恵まれて、楽しい水曜日を過ごさせていただきました。
- 充実した時間を過ごすことができました。どうもありがとうございました。

公民館事業報告書

事業名			高齢者学級「けやき学級」	担当者	伊藤 修	
				職層	主事	
参加者数	20人	予算枠		募集方法	市報、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター、ホームページ	
延べ人数	265人	10.4.2.6 (成人教育に要する経費)				
出席率	82%	予算措置		受付方法	往復はがき (多数抽選)	
全回出席	2人	総額 240,000円				
男女別	男	5人	内訳 12,000円×2h×10回	定員	20人	
	女	15人		対象	市内在住・在勤・在学の方	
担当企画実行委員			阿部光子、今村 誠、大野芳輝、金ヶ江博紀、齊藤美恵子、高橋陽子			
年代別	9歳以下		保育	町別	東町	
	10～19歳		なし		梶野町	
	20～29歳		保育予算		関野町	
	30～39歳		なし		緑町	
	40～49歳		準備会		中町	1人
	50～59歳		なし		前原町	7人
	60～69歳	3人	アンケート回収数		本町	1人
	70～79歳	10人			桜町	
	80～89歳	6人	※アンケートについては、失念したため未実施。		貫井北町	
	90歳以上	1人			貫井南町	11人
	不明				市外	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	5/17	水	10:00～12:00	開講式 (オリエンテーション)	説明・懇親	—	学習室A B	18人
2	5/24	水	10:00～12:00	遠足 「江戸東京たてもの園」	野外	—	小金井市内	13人
3	5/31	水	10:00～12:00	世界情勢 「世界の動きと日本」	座学	茂木 貴 (国際情勢アナリスト)	学習室A B	20人
4	6/7	水	10:00～12:00	皆さんで歌いましょう	座学	木下 容子 (東邦音楽大学准教授)	学習室A B	15人
5	6/14	水	10:00～12:00	スポーツウェルネス吹矢に挑戦	実技	杉山勝英 (日本スポーツウェルネス吹矢協会)	学習室A B	17人
6	7/5	水	10:00～12:00	俳句でリフレッシュ	座学	川名 大 (俳人、現代俳句協会々員)	学習室A B	18人
7	7/12	水	10:00～12:00	映像で見る小金井の歴史	座学	多田 哲 (市文化財センター学芸員)	学習室A B	15人
8	7/19	水	10:00～12:00	落語を楽しもう	座学	柳家小はだ (落語家)	学習室A B	16人
9	9/6	水	10:00～12:00	朗読を聴こう	座学	長谷川葉月 (武蔵野朗読会主宰)	学習室A B	14人
10	9/13	水	10:00～12:00	東京ガスミュージアム見学	野外	—	小平市	11人
11	9/20	水	10:00～12:00	あははのわ 脳活体操でリフレッシュ	座学	加藤良江 (認知症予防ネット府中)	学習室A B	16人

12	10/4	水	10:00～ 12:00	いつまでも健康で いるための食事について	座学	近藤仁美 (市健康課栄養士)	学習室A B	14人
13	10/11	水	10:00～ 12:00	健康体操	実技	東急スポーツオアシ ストレーナー	学習室A B	14人
14	10/18	水	10:00～ 12:00	文学「司馬遼太郎とその世 界」	座学	山田 有策 (東京学芸大学名誉教授)	学習室A B	18人
15	10/25	水	8:30～ 16:00	野外学習「千葉港散策」	野外	—	千葉県千葉市	13人
16	11/1	水	10:00～ 12:00	近年の異常気象と防災	座学	近藤奈央 (気象予報士)	学習室A B	17人
17	11/8	水	10:00～ 12:00	アンサンブル小金井による 管楽器演奏と閉講式	座学	アンサンブル 小金井	学習室A B	16人

事業のねら い・位置づ け等	高齢者の置かれた現状と課題を見据え、「生きがいある毎日のために」をテーマに共に学び、行動し、社会参加のあり方を考え、生きがいを見出す。
特記事項	換気と室内温度調整、マイクの受け渡し時の消毒に注意する。

貫井南分館

成人学校

「庭園と美術にふれ 季節を感じる 東京都庭園美術館を知る」

目的 都心部にある歴史ある建築物と季節折々の情緒あふれる東京の文化にふれ、魅力の再発見をしてもらう。



とき・ところ・内容

- ① 令和5年11月10日（金）午前10時から正午
公民館貫井南分館学習室AB

事前学習（座学）

朝香宮の歴史、朝香宮邸の建築様式（アールデコ）とその見どころ

- ② 同年 11月17日（金）午後0時（市役所本庁舎駐車場出発・マイクロバス）
東京都庭園美術館訪問（港区白金台5丁目21-9）

学芸員から10分程度のレクチャー後、展覧会（この時期は、開館40周年記念「装飾の庭」、建物及び庭園の鑑賞

講師 板谷 敏弘さん（東京都庭園美術館学芸員）

応募・受講者人数等 募集人数 13人（多数抽選） 応募人数 33人

受講人数 14人（男性1人、女性13人） 受講率：98%

参加年代 30代：1人 50代：1人 60代：6人 70代：6人

担当企画実行委員 大野 芳輝

参加者感想

○講義を聞いてなければ、さーっと見学してやりすごすだけだったと思うので、事前学習がありがたかったです。先生の話しも職員ならではの情報も交えて、2時間があっという間で楽しかった。当日も悪天でのスタートでしたが、細やかな心遣い（ホカロン）もあり、快適に行ってこられました。美術館に行く前に勉強会があったので、当日、とても分かりやすく、本当に良かった。

○旧朝香宮邸に訪れたいと思っていたのですが、小金井から行くのが大変そうで諦めていたのですが、今回市役所からマイクロバスで連れて行って頂いて有難かった。

○素晴らしい企画でした。参加できて幸せです!!! 小金井市に住んでいて、本当にありがたいと感じました。講義を聞けたおかげで、より深く鑑賞できて、心豊かな時間を過ごすことができましたと思います。

公民館事業報告書

令和5年度

事業名	成人学校 「庭園と美術にふれ 季節を感じる 東京都庭園美術館を知る」		担当者	松本浩明	
			職層	主任	
参加者数	13人	予算枠		募集方法 市報、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター、ホームページ、ツイッター	
延べ人数	25人	10.4.2.6 (成人教育に要する経費)			
出席率	96%	予算措置		受付方法 往復はがきまたはメール	
全回出席	96%	総額 0円			
男女別	男	1人	駐車料 4,000円 (マイクロバス)	定員	13人
	女	12人		対象	市内在住・在勤・在学者
担当企画実行委員		大野芳輝、齊藤美恵子			
年代別	9歳以下		保育	東町	
	10～19歳		なし	梶野町	1人
	20～29歳		保育予算	関野町	
	30～39歳	1人	なし	緑町	
	40～49歳		準備会	中町	2人
	50～59歳	1	なし	前原町	1人
	60～69歳	6人	アンケート回収数	本町	3人
	70～79歳	5人	人	桜町	
	80～89歳			貫井北町	3人
	90歳以上			貫井南町	3人
	不明			記載なし	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	11/10	金	10:00～12:00	朝香宮の歴史、朝香宮邸の建築様式 (アールデコ) とその見どころ	座学	板谷敏弘さん (東京都庭園美術館学芸員)	公民館 貫井南分館 学習室AB・ 園庭	13人
2	11/17		12:00～17:00	野外学習 東京都庭園美術館で美術鑑賞など (一部解説あり)	見学		東京都庭園美術館	12人
事業のねらい・位置づけ等		都心にあって季節を感じるができる施設で、美術鑑賞、庭園見学などで学習を行うとともに、秋をそれぞれで感じてもらう。						
特記事項								

貫井南分館

成人学校	「水引細工の正月飾り 橙飾りのリースを結ぼう」
------	----------------------------

目的 市内で活動する講師を招き、ものづくりを通して地域コミュニケーションを図る。

日程 令和5年12月2日（土）午前10時～正午

内容 水引を使って水引細工を結び、正月飾りを製作する。

講師 小松 慶子さん（水引デザイナー/紙単衣主宰）

ところ 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 800円（材料費）

募集方法 市報11月1日号 月刊こうみんかん11月号 チラシ 市ホームページ Twitter

申込多数の場合、抽選

電話または直接貫井南分館窓口まで

人数 募集 10人 応募40人（女性40人）

受講 10人（女性10人） 参加率100%

参加年代 50代 2人 60代 2人 70代 6人

担当企画実行委員 高橋 陽子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想

12月の恒例講座として、水引細工の正月飾りを制作している。

今回はさらに、公民館で利用できる部屋を知ってもらうことを意識し、最近畳替えをした和室の部屋で講座を開催した。

参加者は最初こそ初めての制作体験に困惑する方も多かったが、しっかりと完成することができたようだった。

参加者感想

○初めて水引細工をやりましたが、思ったより難しかったです！！でも素敵なお正月飾りができて大変満足しています。

○最初完成できるか不安でしたが、完成して持って帰ることできる満足感を得られました。

○難しかったです、どうしてもきっちり形作ることができなくて無器用だと実感しました。でも楽しいひとときでした。



公民館事業報告書

			令和5年度		
事業名	成人学校「水引細工の正月飾り 橙飾りのリースを結ぼう」		担当者	永嶋汐美	
			職層	会計年度任用職員	
参加者数	10人	予算枠		募集方法 市報、月刊こうみん かん、チラシ、ポス ター	
延べ人数	10人	10・4・2・6 (成人教育に要する経費)			
出席率	100%	予算措置		受付方法 往復はがき、Eメー ル、申込フォーム (多数抽選)	
全回出席	10人	総額 16,000円			
男女別	男	0人	内訳 8,000円×2h×1人 =16,000円	定員	10人
	女	10人		対象	市内在住・在学・在勤
担当企画実行委員		高橋陽子			
年代別	9歳以下		保育	東町	
	10～19歳		なし	梶野町	
	20～29歳		保育予算	関野町	
	30～39歳		なし	緑町	
	40～49歳		準備会	中町	
	50～59歳	2人	なし	前原町	2人
	60～69歳	2人	アンケート回収数	本町	2人
	70～79歳	6人	9/. 10	桜町	
	80～89歳			貫井北町	1人
	90歳以上			貫井南町	5人
	不明			市外	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	12/2	土	10:00～ 12:00	「水引細工の正月飾り 橙飾り のリースを結ぼう」	工作	小松 慶子	学習室 A・B	10人
2								
3								
4								

事業のねらい・位置づけ等	市内で活動する講師から学び、ものづくりを通して地域コミュニケーションを図る。日本の伝統工芸の水引細工に実際に触れる機会をつくる。
特記事項	